

第4回委員会議事要旨

○国土地理院より、資料1に基づき、「屋外3次元空間における高精度衛星測位の適用拡大のための技術開発」について説明した。

これに対して委員から、樹木やビル等異なった遮蔽物の自動マスク化についてご質問をいただき、それに対して説明者より、繰り返しの試行錯誤により、プログラムを修正していきたいとの旨回答した。

また、委員から、測位のリアルタイム化についてご質問をいただき、それに対して説明者より、その意義やまとめ方について考えを述べた。

さらに、委員から、サービス事業者提供してほしいと要請され、それに対して説明者より、来年度に供用したいとの旨回答した。

○国土地理院より、資料2及び参考資料に基づき、「屋内測位の精度向上・屋内外シームレス化に関する技術開発」について説明した。

これに対して委員から、パブリックタグ登録データの管理体制についてご質問をいただき、それに対して説明者より、現時点では、今後も国土地理院が、責任を持って管理する旨回答した。

また、委員から、パブリックタグの登録情報の信頼性についてのご指摘をいただき、それに対して説明者より、今後鮮度ある信頼度について発信していきたい旨回答した。

さらに、構成員から、新しいタイプの室内測位についてご紹介があった。それに対して説明者より、今後その新技術について注視する旨回答した。

○国土地理院より、資料3に基づき、「3次元地図の整備・更新技術」について説明した。

これに対して委員から、BIMの別の利用方法についてご質問いただき、それに対して説明者より、BIMのレベルごとに利用実績などを説明した。

また、委員から、地下空間、地下街路についてBIMやIFCがカバーしているかの確認についてご質問をいただき、それに対して説明者より、場所に関係なく、BIMで作られるデータが対象になる旨回答し、ご納得をいただいた。

さらに、構成員から、平成29年度の取り組み予定についてご質問をいただき、それに対して説明者より、Z方向やネットワークなど来年度の取り組みについて説明を行った。

○国土地理院より、資料4に基づき、「3次元空間モデリングシステムの構築」について説明した。

これに対して委員から、拘束条件の有無についてのご質問をいただき、それに対して説明者より、拘束条件の有無や、移植する際の難しさなどについて説明があった。

また、構成員から、Google Tangoの利用について紹介があった。それに対して説明者より、引き続き情報収集に努めたい旨回答があった。

さらに、構成員から、この方法の精度検証についてのご質問をいただき、それに対して説明者より、歩行者移動支援の観点からの精度のあり方等について回答した。

○事務局より、来年度に開催予定の次回の委員会、WGについてそれらの計画について説明があった。